

# iFreeNEXT インド株インデックス

&lt;3484&gt;

追加型投信／海外／株式／インデックス型  
日経新聞掲載名：iFインド株

第1期 2024年3月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、Nifty50指数（配当込み、円ベース）の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第1期末	基準価額	13,870円
	純資産総額	104,176百万円
第1期	騰落率	38.7%
	分配金	0円

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0348420240312◇

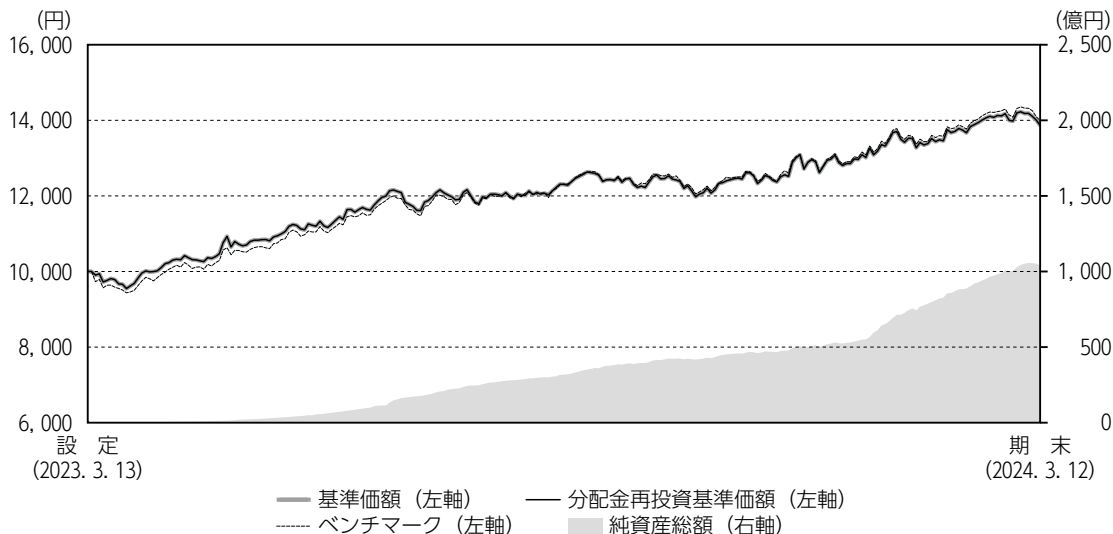
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、設定日を10,000として指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* ベンチマークはNifty50指数（配当込み、円ベース）です。

### 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：13,870円（分配金0円）

騰落率：38.7%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

インド株式市況が上昇したことやインド・ルピーが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 3. 13~2024. 3. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	77円	0.639%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は12,079円です。</b>
( 投 信 会 社 )	(41)	(0.336)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(34)	(0.281)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	66	0.543	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	(19)	(0.157)	
(先物・オプション)	(47)	(0.387)	
有 価 証 券 取 引 税	22	0.185	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(22)	(0.185)	
そ の 他 費 用	2	0.015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	167	1.383	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

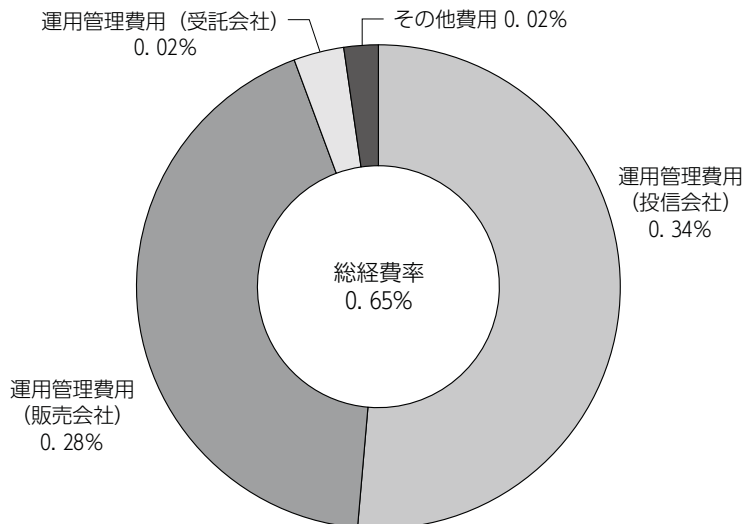
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.65%です。

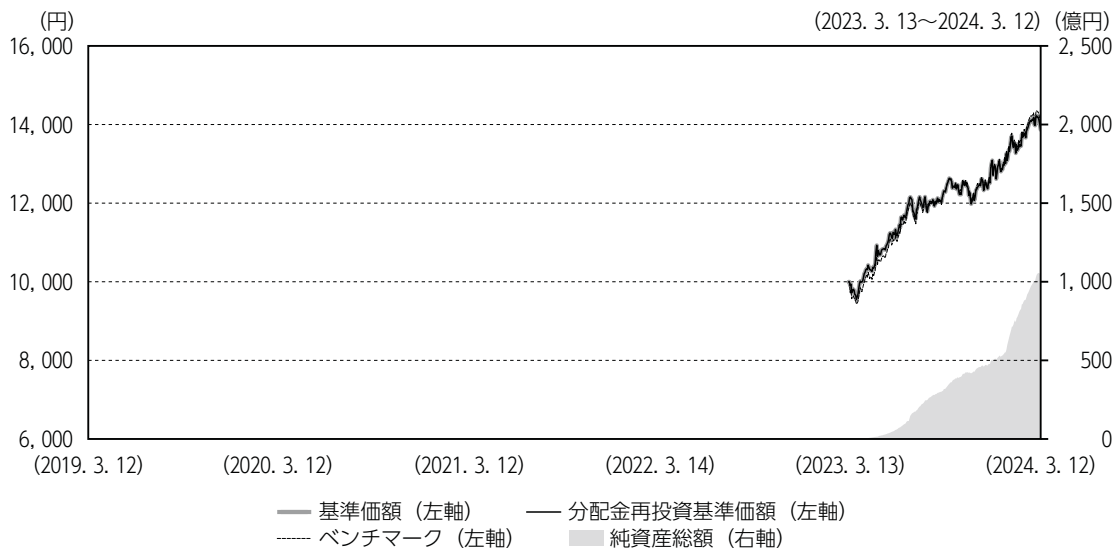


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、2023年3月13日を10,000として指数化したものです。

		2023年3月13日 設定	2024年3月12日 決算日
基準価額	(円)	10,000	13,870
分配金 (税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	38.7
Nifty50指数 (配当込み、円ベース) 騰落率	(%)	—	39.9
純資産総額	(百万円)	100	104,176

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) Nifty50指数 (配当込み、円ベース) は、Nifty50指数 (配当込み、インド・ルピーベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023. 3. 13 ~ 2024. 3. 12)

### ■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、RBI（インド準備銀行）の利上げ打ち止め観測やインド経済の成長期待から、当作成期首から2023年9月半ばにかけて堅調に推移しました。インフラやエネルギーを事業の柱に急成長したインドの新興財閥アダニ・グループに関する不正会計疑惑について、調査当局が決定的証拠はないとの見解を示したことも、株式市況上昇の支援材料となりました。10月にかけては、中東情勢の緊迫化や米国の金融引き締め長期化懸念による米国金利の上昇などが嫌気され、調整しました。その後は、米国の追加利上げ観測の後退や市場予想を上回る7-9月期実質GDP（国内総生産）成長率が好感されたほか、州議会選挙の結果からモディ首相続投の期待が高まり、当作成期末にかけて上昇しました。

### ■為替相場

インド・ルピーは、円に対して上昇しました。

インド・ルピーは、当作成期首から2023年6月末にかけて、経済指標の上振れなどを受けて米国金利が上昇する中で円安米ドル高が進行し、ルピーも対円で上昇しました。7月半ばには、日銀の政策修正観測などを受けて対円で反落（円高）しました。その後は10月末にかけて、米国の金融引き締め長期化観測を受けた米国金利の上昇から円安米ドル高が進行する中、株式市場への海外資金の流入などを背景にインド・ルピーが対米ドルで下げ渋ったことを受け、対円で上昇しました。しかし11月から12月にかけては、日銀のマイナス金利解除観測から、対円で下落しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高が進行し、ルピーも対円で上昇しました。

## ポートフォリオについて

(2023. 3. 13 ~ 2024. 3. 12)

### ■当ファンド

「インド株インデックス・マザーファンド」の受益証券を通じて運用を行いました。

### ■インド株インデックス・マザーファンド

主として、インドの株式に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざしました。ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら運用を行いました。

また運用開始から約8カ月間は、効率性の観点から株価指数先物を利用した運用を行いました。2023年12月以降は現物の組み入れを開始し、現物と先物を組み合わせて、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

\* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

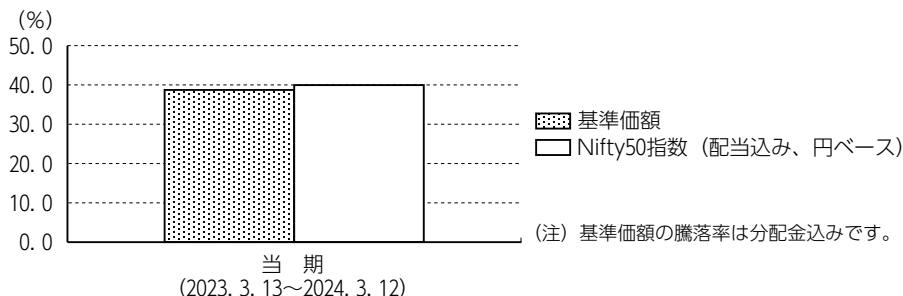
組入ファンド	ベンチマーク
インド株インデックス・マザーファンド	Nifty50指数（配当込み、円ベース）

## ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は39.9%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は38.7%となりました。

先物取引の影響や運用管理費用等のコストが、かい離の要因として挙げられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



\* ベンチマークはNifty50指数（配当込み、円ベース）です。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年3月13日 ～2024年3月12日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,869

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「インド株インデックス・マザーファンド」の受益証券を通じ、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

### ■インド株インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。





## お知らせ

### ■信託報酬率の引き下げについて

費用削減により運用成果の向上を図るため、信託報酬を年率0.473%（税抜0.43%）に引き下げました。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2023年3月13日）	
運用方針	投資成果をNifty50指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	インド株インデックス・マザーファンドの受益証券
	インド株インデックス・マザーファンド	イ. インドの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. インドの株価指数を対象とした先物取引 ハ. インドの株価指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券） ニ. 日本国債
マザーファンドの運用方法	①主として、インドの株式に投資し、投資成果をNifty50指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。 ※信託財産の規模によっては、日本国債に投資するとともに、インドの株価指数を対象とした先物取引を利用します。 ※効率性の観点から、インドの株価指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）に投資する場合があります。 ②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式等の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。なお、外貨エクスポージャーの調整を目的として外国為替先物取引を利用する場合があります。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、NSE INDICES LIMITEDが発起、保証、販売または販売促進を行っているものではありません。

NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの所有者または一般のいかなる人に対しても、有価証券全般または当ファンドへの投資の妥当性、あるいはNifty50指数のインド株式市場全体のパフォーマンスへの連動性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証を行いません。

NSE INDICES LIMITEDと大和アセットマネジメント株式会社との関係は、NSE INDICES LIMITEDが、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に決定、構築および算出を行う指数と指数に関連する商標および商号についての使用を許諾することだけでしかありません。

NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数の決定、構築および計算に関して、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの所有者の要望を考慮する義務を負いません。

NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの設定に関してその時期、価格もしくは数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与もしていません。

NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの管理、販売または取引に関していかなる義務または責任も負いません。

NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数とそれに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではなく、その誤り、欠落、障害に対していかなる責任も負わないものとします。

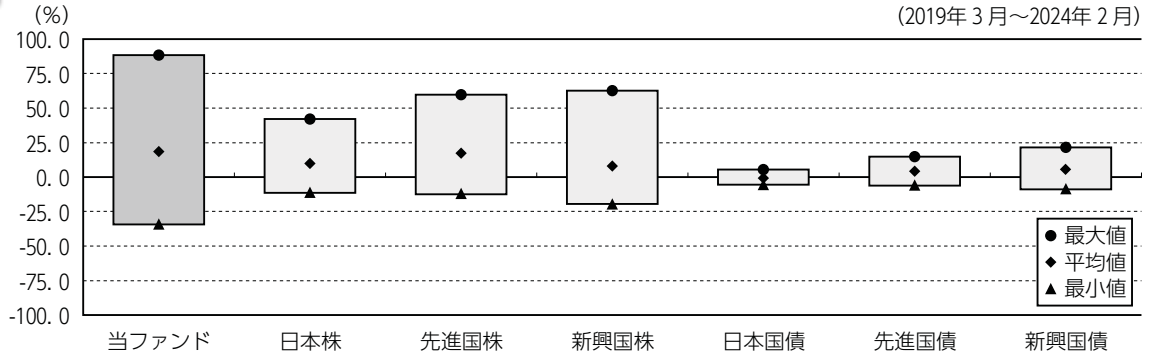
NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの所有者、またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。

NSE INDICES LIMITEDは、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつNifty50指数またはそれに含まれるデータに関して、商品性または特定の目的または使用に対する適合性のすべての保証を明示的に否認します。

上記に関わらず、NSE INDICES LIMITEDは、いかなる直接的、特別の、懲罰的、間接的または結果的損害（逸失利益を含む）も含めて、本ファンドに起因または関連するあらゆる請求、損害または損失について、たとえそれらの可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	88.5	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
平均値	18.6	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6
最小値	△ 34.2	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるのではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>〕●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



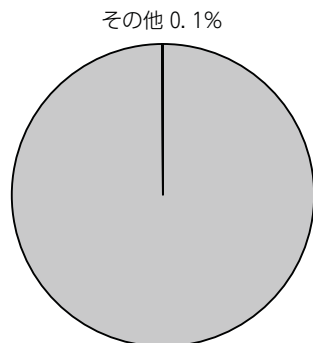
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド等

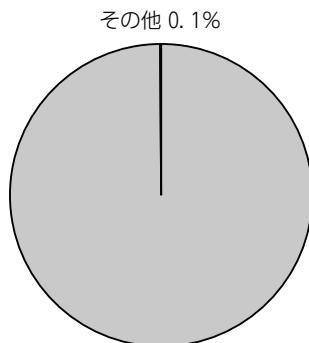
	比 率
インド株インデックス・マザーファンド	99.9%
その他	0.1

### 資産別配分



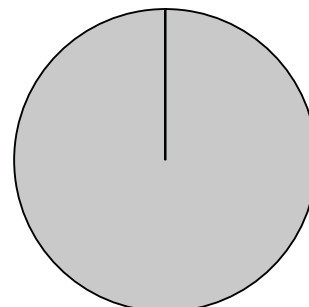
マザーファンド 99.9%

### 国別配分



日本 99.9%

### 通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2024年3月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています

## 純資産等

項 目	当期末
	2024年3月12日
純資産総額	104,176,364,810円
受益権総口数	75,110,042,545口
1万口当り基準価額	13,870円

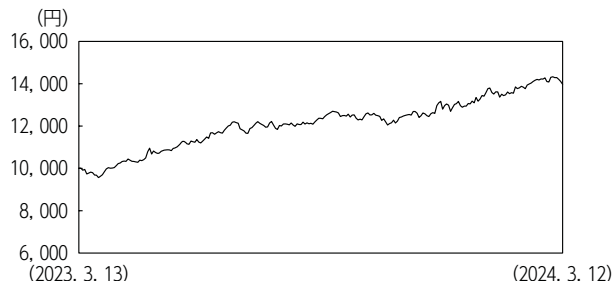
\*当期中における追加設定元本額は90,457,772,757円、同解約元本額は15,447,730,212円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆インド株インデックス・マザーファンド (作成対象期間 2023年3月13日～2024年3月12日)

## ■基準価額の推移



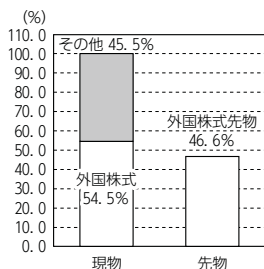
## ■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (株式)	66円 (19)
(先物・オプション)	(47)
有価証券取引税 (株式)	22 (22)
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合計	90

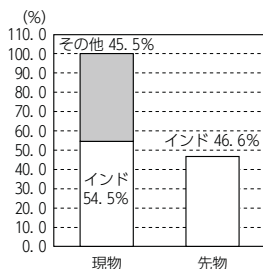
## ■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
IFSC NIFTY 50 MAR 24 買	アメリカ・ドル	46.6%
HDFC BANK LIMITED	インド・ルピー	6.0
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	5.5
ICICI BANK LTD	インド・ルピー	4.2
INFOSYS LTD	インド・ルピー	3.2
LARSEN & TOUBRO LTD	インド・ルピー	2.4
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	インド・ルピー	2.3
ITC LTD	インド・ルピー	2.0
AXIS BANK LTD	インド・ルピー	1.7
BHARTI AIRTEL LTD	インド・ルピー	1.7
組入銘柄数	51銘柄 (先物含む)	

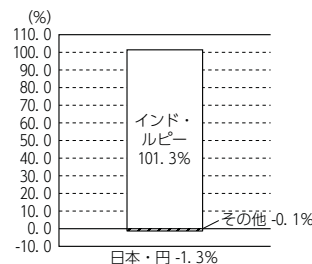
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。